

**言語イマージョン・プログラム「海外集中言語研修」
2019 年度夏期 募集要項**

募集期間	募集プログラム	派遣期間
4/10(水) ~ 4/24(水)	中国語	2019/8/11(日) ~ 9/17(火)
	ベトナム語	2019/8/12(月) ~ 9/14(土)
	タイ語	2019/8/17(土) ~ 9/18(水)
	韓国語(アドバンス)	2019/8/9(金) ~ 8/30(金)

立命館アジア太平洋大学
アカデミック・オフィス
第 1 版
(2019 年 4 月 1 日)

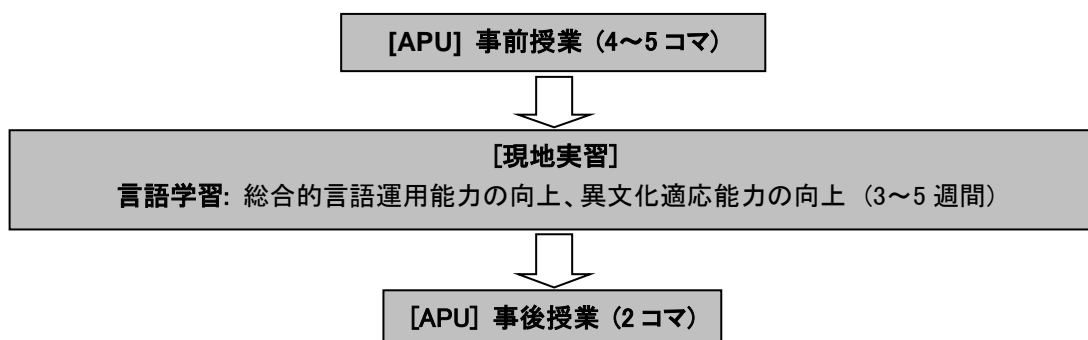
目次

1. 言語イマージョン・プログラムとは	P.2
① 科目概要と授業の特色	
② 教育目標	
③ 科目名称、成績	
④ 履修登録および単位授与時期	
2. 募集概要	P.2~4
① 募集プログラムとスケジュール	
② 申請期間	
③ 申請要件	
④ 申請方法	
⑤ 申請期限	
⑥ 誓約書提出期限	
⑦ 選考方法	
⑧ 選考期間	
⑨ 面接日	
⑩ 合否発表	
3. 受講者確定後の手続き	P.4~5
① プログラム費の支払い	
② 保険加入	
③ 航空券代の支払い	
④ 査証(ビザ)取得	
⑤ 予防接種	
4. 免責事項・注意事項	P.5
① 海外実習時における注意事項	
② プログラムの中止や内容の変更	
③ 最終選考結果発表後の辞退について	
④ キャンセル料について	
⑤ 履修登録における注意事項	
5. 遵守事項	P.5~6
① 基本姿勢	
② 健康管理等	
③ 経費および補償	
④ 入国・帰国	
⑤ 誓約書の提出	
6. その他	P.6~7
① 個人情報の取扱い	
② 奨学金	
③ 履修免除(希望者のみ)	
④ 姿勢	
⑤ 宿泊	
7. 募集プログラムとスケジュール	P.8~12
① 中国語イマージョン・プログラム	
② ベトナム語イマージョン・プログラム	
③ タイ語イマージョン・プログラム	
④ 韓国語イマージョン・プログラム	
8. イマージョン・プログラムに関する問い合わせ先	P.13

1. 言語イマージョン・プログラムとは

①科目概要と授業の特色

言語イマージョン・プログラムは、「海外集中言語研修(言語教育科目)」として実施される APU の正課科目です。この科目は、APU で行われる事前授業、海外実習、日本へ帰国してから実施される事後授業によって構成されています。科目を通して言語能力の向上を目指します。更に科目の一環として行う海外実習では、現地の人々との交流や現地ならではの活動を通して異文化への理解を深めることも目的としています。



②教育目標

- (1) APU で提供されている言語教育科目(英語及び AP 言語科目)を補充し、当該言語の使用されている国・地域で徹底した言語訓練を施すことによって、言語の運用力を強化します。
- (2) 当該言語の使用されている地域の言語や文化、社会に対する知的好奇心をさらに高め、今後の言語学習への動機を高め、同時に言語学習と学部専攻分野での学習・研究との接点を深く考える機会とします。
- (3) 当該地域の学生・市民との交流を通じて、異文化を理解尊重し、相互理解に努める精神を養います。

③科目名称、成績

科目名 「海外集中言語研修」(言語教育科目)
単位数 2 単位もしくは 4 単位
(「募集プログラムとスケジュール (P.8 以降)」を参照のこと)
成績評価 通常評価 (A+、A、B、C/F)

④履修登録および単位授与時期

参加が決定した後、大学にて履修登録を行います。各セメスターにおける履修登録上限単位数の上限には含まれません。イマージョン科目実施セメスター期(2019 年度春セメスター)の単位授与となります。

2. 募集概要

①募集プログラムとスケジュール

2019 年度夏期は以下 4 つのプログラムで参加者を募集します。派遣先大学の情報やプログラム概要については、下記、比較一覧表の他、P.8 の「募集プログラムとスケジュール」で確認してください。

言語	中国語	ベトナム語	タイ語	韓国語
派遣時期	2019/8/11(日) ~ 9/17(火)	2019/8/12(月) ~ 9/14(土)	2019/8/17(土) ~ 9/18(水)	2019/8/9(金) ~ 8/30(金)
派遣先大学	東北財経大学	トン・ドゥック・タン 大学	シーナカリン ウィロート大学	釜山外国語大学
プログラム費	110,000 円	180,000 円	240,000 円	150,000 円

日程	内容
2019年	
4/10(水)～4/24(水)16:30	申請期間
4/10(水) ①14:15～②16:05～	募集ガイダンス
5/1(水)2～5限	面接
5/3(金)午後	可否発表
5/9(木)16:30	誓約書提出期限
5/13(月)	プログラム費支払い締切
5/15(水)5～6限	Off-campus Study Program 受講者ガイダンス
	言語イマージョン・プログラムガイダンス
6月上旬	航空券代、ビザ申請代(必要な場合)支払い締切
6月～7月	事前授業(5回/各プログラムのシラバスで確認)
7月	出発前語学力測定テスト(各プログラムのシラバスで確認)
7月13日(土)10:35～13:00(予定)	危機管理授業
	言語イマージョン・プログラム出発前ガイダンス
8月～9月	各プログラム現地実習、AP言語履修免除試験(希望者のみ)
9月	事後授業、帰国後語学力測定テスト
12月履修登録修正期間2	大学による履修登録・単位授与

上記以外にも各種ガイダンスが行われる場合があります。詳しくは参加決定後に案内します。

②申請期間

2019年4月10日(水)9:00～4月24日(水)16:30

③申請要件

本募集要項の「募集プログラムとスケジュール(P.8以降)」に記載されている各プログラムの申請条件に加え、以下の要件を満たしていることが必要です。

- ・ 1～7セメスター生であること
- ・ 早期卒業プログラムの学生の場合は、最終セメスターでの申請はできません。
- ・ プログラムの趣旨・目的を理解し、新しい環境に適応しようと努力し、海外での学習に対して意欲を持ち、真摯に学習に励む学生であること

④申請方法

申請期間中に、以下2つの手続きを行ってください。

Step 1: Web 申請

下記 URL または右の QR コードより申請ページへアクセスしてください。

<http://www.apu.ac.jp/academic/page/content0127.html/>

申請期間中に申請フォームを公開します。

・Web 申請には、以下が必要になります。予めご準備ください。

- 1) パスポート(写真のページ)のアップロード
- 2) 顔写真データのアップロード
- 3) 志望理由の入力



[注意]

パスポートの有効期限が渡航国の求める残存期間(6ヶ月が目安)を満たしていない場合、速やかに更新手続きを行ってください。

パスポートや顔写真のコピーは、以下ファイル名で保存したものをアップロードしてください。

[パスポート] Passport_氏名_学籍番号 (例: Passport_YamadaTaro_11223344.pdf)

[顔写真] Facephoto_氏名_学籍番号 (例: Facephoto_YamadaTaro_11223344.pdf)

⑤申請期限

2019年4月24日(水)16:30

Step 2: 誓約書提出

誓約書をアカデミック・オフィス内に設置しているポストに投函してください。(提出必須)

- ・ 学生署名欄は学生本人が、保証人署名欄は保証人が記入してください。
- ・ 学生本人・保証人それぞれが直筆の署名・押印をした原本を提出してください。
- ・ 印鑑は学生本人・保証人とが異なるものを使用してください。(国際学生の保護者については、直筆の署名のみで構いません。(押印は必要ありません))
- ・ 学生本人と保証人の署名が直筆でない場合や筆跡が同じと判断される場合、再提出を求めます。

⑥ 誓約書提出期限

2019年5月9日(木)16:30

⑦ 選考方法

Web 申請時に提出したエッセイ、及び面接審査等による総合的な選考を行います。

⑧ 選考期間

- ・ 以下の日程で面接を実施します。詳細は申請締切り後にキャンパスターミナルの「あなた宛の重要なお知らせ」にて連絡します。必ず予定を空けておいてください。
- ・ 面接を無断で欠席した場合は、申請の意思がないものとみなし申請を取り消します。

⑨ 面接日

2019年5月1日(水)2~5 限目

⑩ 合否発表

キャンパスターミナルの「あなた宛の重要なお知らせ」にて通知します。

2019年5月3日(金)午後

3. 受講確定後の手続き

① プログラム費の支払い

- ・ プログラム参加には規定のプログラム費を支払う必要があります。P.8 以降「プログラム費」欄を参照してください。
- ・ 奨学金が支給される場合も、一旦、支払い期限までにプログラム費の全額を支払う必要があります。
- ・ 各プログラムの支払い期限は5月13日(月)です。その他の費用(航空券代、ビザ申請費用等)の支払い期限は6月上旬を予定しています。詳細は manaba を通じてお知らせします。

② 保険加入

個人で既に加入している場合も、APU 及び派遣先大学が指定する海外旅行保険、JCSOS 危機管理システム(J-TAS)への加入が必要です。保険加入に関する詳細は、受講者ガイダンスで説明します。

③ 航空券代の支払い

- ・ 大学がプログラム実習日程に合わせて航空券の予約をします。(現地集合・現地解散および航空券の変更はできません) 支払い方法は manaba を通じてお知らせします。

④ 査証(ビザ)取得

- ・ 派遣国・地域、または、国籍によって、渡航前にビザの取得が必要な場合があります。
- ・ 申請は代理申請が認められていない国以外は、プログラム毎に大学が一括して取りまとめます。
- ・ 派遣国や本人の国籍によって申請方法が異なるほか、取得が困難な場合があります。万一、取得できない場合は、受講不可となりますが、その場合もキャンセル費が発生することがあります。

【国際学生のみ】

プログラム実施国のビザ以外に、日本の在留許可期限及び再入国許可の期限についても各自確認してください。在留許可期限の更新・再入国許可について分からないことがあれば、チュードント・オフィスで確認してください。

⑤予防接種

受講者ガイダンスにて、APU ヘルスクリニックが推奨する予防接種の種類を案内します。予防接種は必須ではありませんので、接種するかどうかは各自で判断してください。接種を希望する場合は、ヘルスクリニックで手続きを行ってください。

4. 免責事項・注意事項

①海外実習時における注意事項

- ・ 本プログラムの実習期間中に、プログラムの当事者(APU、派遣先大学、現地機関)以外の第三者(組織、個人)による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟、それに関わる対応等の責任を負わなければなりません。プログラム当事者(APU、派遣先大学、現地機関)はその責任を負いません。

②プログラムの中止や内容の変更

- ・ 参加者の健康や安全を第一に優先するため、実習先で天災・災害・ストライキ・伝染病・政治情勢の変化・戦争・テロ、不可抗力に起因する事態が発生した場合やその他受け入れ先大学の事情等によりプログラムの中止や内容の変更を行う場合があります。プログラムの中止や内容が変更になる可能性も念頭においた上で、無理のない履修計画を行ってください。
- ・ 受講態度や出席状況、書類や課題などの提出状況などを勘案し受講不適格と判断された場合、合格発表後であっても、参加者のプログラム参加許可が取り消されることがあります。

③合否発表後(最終選考結果発表後)の辞退について

- ・ 本学は皆さんがプログラム申請をした時点で受講の意思があるものとして選考を行います。プログラム参加者決定後に人数の変更があった場合、プログラム自体の実施が不可能になることや、他の参加者へ追加料金が課される場合があります。従って、最終合格発表後の辞退は認められません。
- ・ 申請する際は、事前にプログラム内容をよく確認し、辞退することのないよう準備を行ってください。
- ・ 最終合否発表後に辞退せざるを得ない状況が生じた場合は、辞退する学生本人がキャンセル費用を支払う必要があります。

④キャンセル料について

- ・ 参加者のやむを得ない理由により、プログラム開始後に参加を辞退する場合、学生はその時点までに発生した費用をキャンセル料として負担しなければなりません。キャンセル料には、銀行手数料(海外送金手数料等)も含まれます。
- ・ 既にプログラムに要する費用を大学に納入済みの場合、キャンセル料を差し引いた差額を返金します。返金手続きは、派遣先大学から APU への払い戻し等が必要な場合等、一定時間を要します。予めご了承ください。

⑤履修登録における注意事項

- ・ 本プログラムによる履修科目・修得単位数が、卒業までの履修計画において問題がないか十分に確認してください。プログラム合格後に問題が判明した場合も、履修の特別配慮等はありませんので自己責任においてプログラムの応募を行ってください。

5. 遵守事項 (誓約書内容を転記)

① 基本姿勢

立命館アジア太平洋大学オフキャンパス・プログラム(以下「プログラム」という。)に参加する学生は、次の点を遵守しなければならない

- (1) プログラムの目的と主旨を理解し、積極的に真面目な態度で勉学に励まなければならない。
- (2) 立命館アジア太平洋大学(以下「本学」という。)の学生として自覚と誇りを持って、本学および派遣先大学・機関(以下「派遣先」という。)の名誉を傷つける行動は慎まなければならない。
- (3) プログラム期間中は、日本の法令および本学の諸規則の他、派遣先の国・地域の法令および諸規則を遵守し、本学および派遣先の教職員の指示に従わなければならない。
- (4) 遵守事項に反する事態を生じさせた場合は、本プログラムへの参加取消・帰国措置を命じられても、異議を申し立ててはならない。

② 健康管理等

- (1) 健康管理は、自らの責任で行うこと。
- (2) 渡航前に、本学が指定する海外旅行傷害保険および危機管理支援システム(J-TAS)等へ加入すること。(海外プログラムのみ)
- (3) 既往症等ある場合は、申し出ること。
- (4) 「オフキャンパス・プログラム参加学生 健康状況および学習面における支援自己申告書」を提出すること。
- (5) 傷病等により入院加療の医療措置が必要となった場合は、すみやかに本学および派遣先に報告するとともに教職員の指示に従うこと。ただし、これらの措置に必要な費用の内、保険の補償限度額超過分については、本人が負担すること。
- (6) 緊急に医療手当または手術の必要が生じ、本人または保証人の同意を得る時間的猶予がない場合は、本学教職員または医師の判断によって処置することに同意すること。

③ 経費および補償

- (1) プログラムに要する費用(実習費・宿泊費・交通費・保険料等)は、指定の期日までに納入すること。
- (2) 募集要項に定める所定の期日後に、本人の傷病、処分等の理由によってプログラムへ参加または継続ができなくなった場合、または辞退した場合には、必要経費(派遣先から本学に請求された必要経費を含む)について負担すること。
- (3) 天災・災害・ストライキ・伝染病・政治情勢の変化・戦争・テロ、その他不可抗力に起因する事態によって、プログラムの中断や内容の変更があった場合、本学および派遣先に損害賠償を要求せず、3.(2)と同様の費用を負担すること。
- (4) 本人の不注意または本学および派遣先が管理できない状況下で、事故、病気または死亡事故が発生した場合、本学および派遣先に対して何等の金銭的またはその他の責任を問わないこと。
- (5) 本人の所有物の盗難や損害、交通事故、刑事事件等、本学および派遣先が管理できない状況下で発生した場合は、本人の責任で対応しなければならないこと。
- (6) 故意または過失により、第三者または本学に損害を与えた場合は、賠償の責を負わなければならないこと。
- (7) プログラムの実習期間中に、本学、派遣先以外の第三者団体、個人、ホームステイ先等による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟やそれに関わる対応等の責任を負わなければならない。本学、派遣先はその責任を負わない。

④ 入国・帰国 (海外プログラムのみ)

- (1) プログラム実施期間前に個人で入国してはならない。
- (2) プログラム実施期間終了後は、速やかに帰国しなければならない。派遣先国の滞在期間延長は、認められない。

⑤ 誓約書の提出

上記事項を理解し厳守するために、本人および保証人による誓約書を提出すること。

6. その他

① 個人情報の取扱いについて

派遣に関わる調整・手続きを進める上で、第三者(派遣先大学・機関、旅行代理店、保険会社、大使館、領事館、外務省等)に対して個人情報を提供することがあります。提供する情報には、氏名、性別、国籍、Eメールアドレス、生年月日、パスポート番号、大学での学修状況があります。

② 奨学金

- ・ 奨学金の受給枠には限りがあります。成績、経済状況などその他総合的判断をして審査を行います。奨学金に関しては、募集の際改めてキャンパスターミナルにてお知らせを掲載します。
- ・ この奨学金に申請できるのは、日本国籍を有する学生又は日本への永住が許可されている学生です。

③ 履修免除試験(希望者のみ)

- ・ 希望者は派遣中に受講しているプログラム言語の履修免除試験を受けることができます。この履修免除試験に合格することで、受講した AP 言語科目の履修免除を受けることができます。
- ・ AP 言語科目において履修免除を受けた場合でも、日本語基準学生は「英語初級 A・B」、英語基準学生は「日本語初級Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を単位修得もしくは履修免除とならなければ、次のレベルの AP 言語科目を履修で

きません。

④姿勢

- ・ プログラムでの経験が有益なものになるかどうかは、受講者自身の姿勢や努力が大きく左右します。海外で異文化を受け入れる柔軟性や積極的な学習姿勢を持つことが必要です。各自でプログラムの受講目的をしっかりと定めてください。
- ・ 参加中は、大学で定めたルールを守らなければなりません（例／ 飲酒や自動車・バイク運転禁止、レジャースポーツの禁止等）。詳しくは、受講決定後のガイダンスで説明を行います。
- ・ 派遣前後に行う事前・事後授業やガイダンスへの出席は必須です。無断欠席は認めません。書類や課題などの提出期日は必ず守ってください。

⑤宿泊

- ・ 大学が指定する施設以外での宿泊は認めません。
- ・ 寮や宿泊先では滞在先のそれぞれの規則や生活習慣に従います。
- ・ 施設の状況やプログラムによって、1 部屋を個人で利用する場合や 2 名以上で共有する場合など宿泊条件が異なります。

7. 募集プログラムとスケジュール

■ 中国語 東北財経大学(大連、中国)

■ ベトナム語 トン・ドゥック・タン大学(ホーチミン、ベトナム)

■ タイ語 シーナカリンウィロート大学 (バンコク、タイ)

■ 韓国語 釜山外国語大学 (釜山、韓国)

中国語イマージョン・プログラム
東北財経大学（中国・大連）

プログラム内容

- ・ 授業は全て中国語で行われます。
- ・ 中国語の授業は毎週月曜日から金曜日まで午前中4時限行われます(8:10～11:50)。総合授業(文法学習など)2限と会話練習2限が基本になります。1時限は 45 分間授業です。
- ・ 午後は中国語を学びつつ中国の文化を理解する各種アクティビティが用意されています。これには太極拳講座、書道講座、中国語歌唱講座、中国経済に関する講座、TA との交流などが含まれます。但しこれは毎日ではなく、期間中数回は自由行動の時間があります。
- ・ それ以外に大連市内の博物館見学、京劇鑑賞、旅順市にある日露戦争激戦地見学などのフィールドトリップも予定されています。

クラス形態

- ・ 参加人数にもよりますが、受入れ大学到着時のプレースメントテスト或いは APU での事前プレースメントテストによって2つ以上のグループに分かれて学習する可能性があります。
- ・ APU 学生のための特別コースになるか、あるいは同時期に APU 以外の留学生の中国語学習プログラムが組まれる場合は、そちらのクラスに編入となる場合もあります。(東北財経大学は日本以外に韓国、ロシア、アフリカ諸国など世界各国から多くの留学生を受け入れています。)
- ・ 2008年以降これまで東北財経大学からは11名の教員が1年間の任期で嘱託講師として APU に派遣されてきていることから、授業は APU での勤務経験のある教員が担当するケースが多くなると考えられます。

派遣先の都市 中国 大連について

東北財経大学がある遼寧省大連市は、中国のなかでは比較的歴史の新しい都市です。近代になってロシア(帝政ロシア)や日本、ソ連による開拓や統治を経験しているため、今でもロシア風、日本風の建築物が残っています。遼東半島先端の都市で海に面しているため、中国のなかでは真夏の気温も比較的低温過ぎやすいと言えますが、去年は世界的な異常気象により大連でも最高気温が35℃に達する日がありました。

申請条件

下記の①と②を満たす者

- ① 中国語ⅡまたはⅢを履修中もしくは単位修得済み(履修免除済み)で中国語Ⅳを履修していない学生、もしくは独学で中国語Ⅱ修了レベルの語学力を身につけている学生
- ② 中国語が母語でない学生

費用

プログラム費	航空券	海外旅行保険 /J-TAS	合計(目安)
110,000 円	約 75,000 円	約 12,000 円	約 197,000 円

上記費用に含まれるもの

実習費、教材費、フィールドトリップ、宿泊費、現地空港送迎

上記費用に含まれないもの

予防接種にかかる費用、入国申請・ビザ申請・領事館面接に関わる費用、日本を出国する空港までの往復交通費、出発前日および帰国日の宿泊費用(個人の判断による)、食費、現地での交通費、その他娯楽費

担当教員	募集人数	単位数	食事	宿泊
崔 達	最小実施人数 10 名 最大募集人数 20 名	4 単位	食事はプログラム費に含まれていない	大学寮あるいは大学周辺宿泊施設

プログラム期間

2019/8/11(日) - 9/17(火) 5週間 (予定)

VISA

日本国籍の場合、必要。日本国籍以外の場合、要確認。

ベトナム語イマージョン・プログラム
トン・ドゥック・ダン大学（ベトナム・ホーチミン）

プログラム内容

このプログラムの主な目的は、以下の2つです。

- ・ 練習を積み重ね、ベトナム語の知識や能力を上達させること。
- ・ ベトナム文化の理解を伸ばすこと。

このプログラムは5週間あり、70時間の集中言語授業に加え文化体験が実施されます。更に、言語パートナーと一緒に実施するアクティビティも予定されています。言語パートナーは、現地大学のベトナム人学生で、ベトナム語の練習を手伝ってくれたり、ベトナムの社会や文化に適応できるようにサポートをしてくれます。

クラス形態

- ・ APU 学生のために特別に作られたプログラムです。
- ・ グループレッスン(1クラスあたり、3-10人)。
- ・ プレースメントテストの結果に基づいて、レベルに応じたクラスに参加。

派遣先の都市 ベトナム ホーチミンについて

ホーチミンシティ(ベトナム語では Thành phố Hồ Chí Minh)は、以前はサイゴンという名前で呼ばれていた、ベトナム最大の都市です。街はサイゴン川沿いにあり、東海から約60キロ、ベトナムの首都ハノイからは1760キロの場所に位置しています。中心部の人口は900万人以上であり、ベトナムで最も人口密度の高い場所となっています。

申請条件

下記の①、②を満たす者

- ① ベトナム語の学習に意欲のある学生(全くベトナム語を勉強したことがない学生、およびAPUでベトナム語科目を履修中、もしくは修了している学生を含む)
- ② ベトナム語が母語でない学生

費用

プログラム費	航空券	海外旅行保険 /J-TAS	合計(目安)
180,000 円	約 97,000 円	約 12,000 円	約 290,000 円

上記費用に含まれるもの

実習費、教材費、フィールドトリップ、宿泊費、現地空港送迎

上記費用に含まれないもの

予防接種にかかる費用、入国申請・ビザ申請・領事館面接に関わる費用、日本を出国する空港までの往復交通費、出発前日および帰国日の宿泊費用(個人の判断による)、食費、現地での交通費、その他娯楽費

担当教員	募集人数	単位数	食事	宿泊
NGUYEN Hoang Minh	最少実施人数 各レベル5名 ※参加者が5名に満たない場合は満たなかったレベルの実施を中止します。	4 単位	食事はプログラム費に含まれていない	大学周辺宿泊施設

プログラム期間 2019/8/12(月) - 9/14(土) 5週間(予定)

VISA 日本国籍の場合、必要。日本国籍以外の場合、要確認。

タイ語イマージョン・プログラム
シーナカリンウィロート大学 (タイ・バンコク)

プログラム内容

このプログラムを通し、基礎的な日常の言語能力を養います。タイ語を初めて学ぶ学生は基礎的なタイ語を学ぶことが出来、すでにタイ語I以上を履修している学生も言語能力を上達させることができます。プログラム中の講義・セッションは午前と午後に分かれていて、午前は8:30～12:00、午後は13:00～15:00となっています。講義は実用的な口語、筆記のタイ語力を高める内容となっています。また、実練習を強化するためのフィールドトリップ、タイ文化理解のための文化講座や企業訪問などもあります。

- ・ 言語学習: 国際学生への教育に経験豊富な講師のもとで学習し、実際に間近で練習できる環境で言語能力を上げていきます。また、プログラム中はタイの学生がバディとして、一緒に練習をしてくれて様々なタイ文化を紹介してくれます。
- ・ 文化講座: タイの伝統的なダンスや衣装、料理等の授業を通し、タイの文化について見聞を深めます。
- ・ 企業訪問: タイの企業を訪問し、タイの組織文化や組織の考え方を学び、タイの労働者や専門家の職業知識を身につける機会となります。
- ・ フィールドトリップ: 都市観光 チョンブリー県: タイで最も観光客が訪れる都市のひとつで、タイで最も大きい海港があります。様々なアクティビティを体験したり、観光地を訪ねることが出来ます。

クラス形態

- ・ グループレッスン
- ・ APU 学生のための特別プログラム

派遣先の都市 タイ バンコクについて

バンコクはタイの首都であり、タイで最も人口の多い都市です。バンコクは、近代的なもの、受け継がれてきた伝統、そしてユニークな史跡が融合する場所であり、現在では金融やビジネス分野においても重要な場所となっています。MasterCard's Global Destination Cities Index では、「最も訪れられた都市」として紹介されており、また、「[Travel + Leisure](#)」誌に4年連続「世界のベストシティ」として選ばれました。

申請条件

下記の①、②を満たす者

- ① タイ語の学習に意欲の有る学生(全くタイ語を勉強したことがない学生、および APU でタイ語科目を履修中、または修了している学生を含む)
- ② タイ語が母語でない学生

費用

プログラム費	航空券	海外旅行保険 / J-TAS	合計(目安)
240,000 円	約 98,000 円	約 12,000 円	約 350,000 円

上記費用に含まれるもの

実習費、教材費、フィールドトリップ、宿泊費(朝食付き)、現地空港送迎

上記費用に含まれないもの

予防接種にかかる費用、入国申請・ビザ申請・領事館面接に関わる費用、日本を出国する空港までの往復交通費、出発前日および帰国日の宿泊費用(個人の判断による)、食費、現地での交通費、その他娯楽費

担当教員	募集人数	単位数	食事	宿泊
TIRANANT Phornrat	最少催行人数: 5 名 ※参加者が 5 名に満たない場合は中止します。	4 単位	朝食のみ	大学周辺宿泊施設

プログラム期間 2019/8/17 (土) - 9/18 (水) 4 週間 (予定)

VISA 日本国籍の場合、必要。日本国籍以外の場合、要確認

プログラム内容

- ・ 語学授業、アクティビティを通し、「韓国語」、「韓国人」、「韓国の社会と文化」を理解することを目標とします。
- ・ 語学授業:釜山外国語大学校・韓国語学堂で韓国語能力試験(TOPIK)対策のための集中講義を行います。TOPIK は、韓国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験です。聞き取り、読解、書き取りを中心に日常・社会生活に必要な韓国語力を身に付けます。
- ・ アクティビティ:特殊講義、慶尚道地域の見学を行います。APU の学生は韓国語でプレゼンテーションを披露します。見て、聞くだけでなく、互いに発信し、理解しあう「学び合い」の実践を試みます。

クラス形態

APU 学生のための特別クラスです。レベルは TOPIK I、TOPIK II の各級を目指す2~3つのクラスを想定しています。TOPIK I では、APU で韓国語 I 以上を修了した学生を対象に日常生活と関連する生活文や説明文の応用、実生活で頻りに接する簡単な広告文や案内文を読んで情報を把握する能力を身に付けます。TOPIK II では、APU で韓国語 II 以上を修了した学生を対象に基本的な社会生活を維持するために必要な文章、身近な社会・文化などを扱う簡単なテーマの文面の情報を把握し、内容を推論するための練習を行います。ただし、釜山外国語大学校でのレベルテストによってクラス分けは変更されることがあります。なお、授業は全て韓国語で行われます。参加者は、第66回韓国語能力試験(2019年10月20日、日本国内32カ所の会場にて実施)を受験することを強くお勧めします。

派遣先の都市 韓国 釜山について

大韓民国南東部(慶尚道)に位置する釜山は、「韓国第2の都市」として政治・経済・文化の面で重要な役割を担ってきました。中世から対日交易の拠点として活用された釜山港は、朝鮮王朝と江戸幕府の交渉が活発だったとも言われています。近代においては京釜線鉄道の整備をきっかけに首都ソウルとの連携が強まり、急速な発展を成し遂げました。近年は、観光地として開発され、日本からもたくさんの人々が海雲台、西面、広安里などの観光スポットを訪れています。日本の福岡市、下関市、中国の上海市、アメリカのロサンゼルス、ベトナムのホーチミン、インドネシアのスラバヤ、台湾の高雄市と姉妹都市の関係を保っている釜山は、国際都市としても発展し続ける魅力的な街です。

申請条件

下記の①、②を満たす者。

- ① 韓国語 II を履修中、単位修得済み(履修免除済み)、または独学で韓国語 I 修了レベル以上の語学力を身につけている学生
- ② 韓国語が母語でない学生

費用

プログラム費	航空券	海外旅行保険 / J-TAS	合計(目安)
150,000 円	約 35,000 円	約 12,000 円	約 200,000 円

上記費用に含まれるもの

実習費、教材費、フィールドトリップ、宿泊費、現地空港送迎

上記費用に含まれないもの

予防接種にかかる費用、入国申請・ビザ申請・領事館面接に関わる費用、日本を出入国する空港までの往復交通費、出発前日および帰国日の宿泊費用(個人の判断による)、食費、現地での交通費

担当教員	募集人数	単位数	食事	宿泊
JUNG, Jong Hee	最少催行人数: 10 名 ※参加者が 10 名に満たない場合は中止します。	2 単位	食事はプログラム費に含まれていない 但し自炊可	大学寮

プログラム期間 2019/8/9 (金) - 8/30 (金) 約 3 週間

VISA 日本国籍の場合、不要。日本国籍以外の場合、要確認

イマージョン・プログラムに関する問い合わせ先

- ・ アカデミック・オフィス B 棟 1 階
- ・ TEL 0977-78-1101 / FAX: 0977-78-1102
- ・ 担当者: アカデミック・オフィス 田澤、菅
- ・ E-mail: immerse@apu.ac.jp